

# k-ふれあいネット

上都賀教育事務所ふれあい学習課

鹿沼市今宮町1664-1 TEL 0289-62-7167

## ふれあい学習ネットワーク

2月5日（金）鹿沼市文化センターにて、ふれあい学習ネットワークを実施しました。内容は「講演」「情報交換、質疑」「社会教育主事受講者報告」等です。

講演は、NPO法人だいじょうぶ理事長の畠山由美氏に「栃木の子ども現状を知っていますか？」～貧困の問題について一緒に考えましょう～をテーマに行っていただきました。畠山氏は、虐待や貧困の問題解消のために学校や行政、民間企業などの様々な機関と連携する活動とともに、母子の居場所「ひだまり」の運営を行うなど、地域の子どもや家庭の支援にNPO法人として日々取り組まれており、こうした中から現状や実態等についてお話しいただきました。



畠山 由美氏の講演の様子

日本の子どもの6人に1人が貧困状態であるという現状にも関わらず、貧困は見えにくく、学校や地域で気付かれていないケースも多いようです。畠山氏によると、子どもの貧困に対する法律は整備されましたが、日本に広がる経済格差が貧困を生み、そのことが不登校や非行、虐待などにつながり、貧困の連鎖が断ち切れなくなるという現状があるとのこと。また、子どもの貧困を無くすために、いわゆる「ふつうの暮らし」を提供し、自立できる子どもを育てる必要性があることから、母子の居場所づくり等の活動の実態についてもお話しいただきました。「子どもが持って生まれた能力を最大限に発揮できるように、大切にされる体験、能力が引き出される体験、成功体験を積むこと」が大切であり、そのために学校や地域で私たちに何ができるのか、どんな視点で子ども達を見守り、育てていくべきか等、多くの問いや気付きをいただいた講演会となりました。

参加者の皆様は、情報交換、協議においても様々な立場の方と意見交換して下さり、講演も含め、以下のような感想をいただきました。

- ・貧困が子どもに及ぼす影響は大きい。親ができなければまわりの大人が手を差し伸べるべきだという点、全くその通りだと共感しました。何らかの形で手を差し伸べていきたいと思います。
- ・すごくショックを受けました。経済大国、日本と言われていたのに、信じられない現実を知りました。今、私にできること、話を聞いてあげること、発見できる目をもっていけたらと強く思いました。
- ・情報交換では他の地域の状況や、ふつうの生活ができなくなっている家庭がある現状を改めて認識できた。
- ・人と人とのつながりがとても大切だと思いました。学校内だけでなく、家庭教育を含めたつながりがとても必要だと感じる研修会でした。

受講者報告では、今年度、社会教育主事講習を受講し、当日出席いただけた地区内の13名の教員・行政職員方に「社会教育主事講習を受講して」というテーマで、講習を通して学んだことや、取り組んでいきたいこと等を報告いただきました。それぞれの学校や職場、地域で講習を生かして活躍して下さっている皆さんの意欲が感じられる報告でした。



日光市勤務の受講者の方々

「架け橋」第7号（HPでも御覧いただけます）に全受講者の方々を御紹介していますので、御覧ください。



巡回公演事業「能・狂言」

## 文化事業の御紹介

今年度も文化庁による「文化芸術による子供の育成事業」が上都賀管内で実施され、児童生徒が本物の芸術に触れる、貴重な機会となりました。

「巡回公演事業」は、管内小中学校4校でヒップホップダンス、演劇、能・狂言の公演が実施されました。また、「芸術家の派遣事業」では、管内小中学校6校に、管楽器、和太鼓、木版画の講師が派遣され、児童生徒が芸術家から直接指導を受けることができました。この他に日本芸術院会員が学校を訪問し、講話や実技披露を行う「子ども夢・アート・アカデミー」事業も実施され、管内2中学校に彫塑、洋画の専門家が派遣されました。「夢・アート・アカデミー」事業は、後日次年度の実施希望調査が行われますので、希望がありましたら御応募ください。

## 上都賀地区

# 親学習プログラム指導者フォローアップ研修

2月3日(水)に鹿沼市民情報センター研修室において、地区内の親学習プログラムでファシリテーターとして活躍いただいているチームの方及び関係行政職員の方にお集まりいただき、フォローアップ研修を実施しました。



開会行事の様子

上都賀地区では、親学習プログラムを就学時健康診断の際の保護者の交流や中学校の家庭教育学級、高等学校での保護者懇談会等に幅広く活用いただいております。

今回の研修は、親学習プログラムの中に、視聴覚メディアを取り入れることに視点を当てた研修といたしました。近年のパソコン、スマートフォン等の情報通信機器と通信ネットワーク網の発達で、我々に対する視聴覚メディアの影響が増し、特に、インターネット動画等は、未成年者だけではなく子育て世代の親にもごく身近なものとなっています。そのため、親学習プログラムにおいても、これらの社会の動きにも対応していく必要があります。

そこで、今回の研修では、視聴覚資料を親学習プログラム(特に思春期版)に活用する意義や使用時の注意事項などを演習形式で研修していただきました。

演習の前半は、視聴覚資料を使った親学習プログラムの体験を、後半は、視聴覚資料をプログラムに活用していただくための効果的な方法やポイント、留意点について御協議をいただきました。



アイスブレイク体験(何が見えますか?)



紙芝居を使った親学習プログラム



動画資料の提示について

参加の皆様は、積極的に活発な意見交換をしてくださりました。以下、感想を挙げたいと思います。

- ・新しい企画で中高生の子をもつ親としてはとても参考になりました。これからの活動では、どこでどのように使うかは、今後の企画次第なのですが、良い点も多いので、心配な点にも注意して新しいものを取り入れていきたいと思っています。
- ・絵や動画は便利だし、インパクトも強いですが、参加者の境遇や生活環境によって受け取り方が様々になってしまうことが分かりました。そのため使い方は非常に難しいと感じました。でも、新しい試みとして考えていきたいと思っています。
- ・動画や視聴覚資料を使うときの注意点などを知ることができました。動画はよいタイミングで上手に利用することができれば、とてもよい資料になることが分かりました。今後も勉強していくよい機会になったと思います。チームに持ち帰り、他の皆さんと再確認していきたいと思いました。

記事をお読みになって興味のある方は、来年度の親学習プログラム指導者研修を受講されてみてはいかがでしょうか。新年度になりましたら、栃木県総合教育センターWEBページで紹介されますので、御覧いただければ幸いです。



栃木県総合教育センター <http://www.tochigi-edu.ed.jp/center/>

## 平成28年度上都賀教育事務所主催研修会の御案内

上都賀地区人権教育指導者一般研修(人権ふれあいフェスタ)

平成28年6月20日(月)午後 鹿沼市民文化センター

上都賀地区PTA指導者研修I

平成28年7月8日(金)午後 日光市中央公民館

上都賀地区地域連携教員等研修会

平成28年8月4日(木)

午後 大沢地区センター



上都賀地区の社会教育・ふれあい学習に関する情報は・・・

上都賀 ふれあい

検索